



▲アルプス席から試合の行方を見守る生徒たち

赤鬼の春Ⅱ 文 51



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

本校は4回、6回といずれもランナーを出しながらも得点を挙げられなかった。一方、投手の増居翔太君(2-4)は一人もランナーを出さない完璧なピッチングを見せていたが、6回に四球によりこの試合初めて相手チームに出塁を許した。

4回

5年前の夏の甲子園の際、本校野球部に所属していた大沢視人さんは「良い試合をしている。終盤まで粘り強い野球をして、頑張っていた」ととエールを送られた。5年前の野球部マネージャーである谷口奈緒子さんは「接戦でどきどきしている。私たちが負けてしまった相手なので、絶対に勝ってほしい」と5年越しのリベンジを望まれた。野球部OBの中村圭佑さんは「後半勝負のチームなので、このままのペースでいけばいいと思う。僕たちの分まで頑張

張ってほしい」と応援の言葉を送られた。野球部OBの高村真湖人君(3-8)は4回までのプレーを見て「どちらでも同じくらい力だと思おうので、先に仕掛けられるようにプレーしてほしい。優勝を目指して頑張してほしい」と期待を寄せた。和田隆君(1-8)は「今のところ0対0で増居さんも良い調子なので、攻撃の援助を頑張してほしい」と今後の展開に期待した。

5回

植木葉梨さん(3-6)は「増居君の調子が良く、守備もいい感じ。選手たちは試合を楽しんでいる」と微笑んだ。原晟也君(3-8)は「増居が頑張っている。打線も頑張っている。増居を後押ししてほしい。僕たちができなかった二勝をしてほしい」と思いを述べた。藤原穂果さん(2-4)は5回までのプレーを見て「彦根東の方が打っているから、この調子で頑張してほしい。2回も甲子園に連れていってもらえてうれしい。応援を頑張るので頑張してほしい」と笑顔で浮かべた。橋本まりんさん(2-6)は「ここから点を取って勝ってほしい。甲子

園を楽しんでほしい」とコメントを寄せた。松下陽星君(1-6)は「増居さんのピッチングが良いリズムを作っていて、朝日さんを筆頭に打っている。最後まで諦めずに一丸となって頑張してほしい」と野球部に期待を込められた。

6回

森田恭司校長先生は「増居がよく頑張っている。流れはこちらにある。ミスがないように」とアドバイスされた。トレーナーの山根寛治さんは「増居がノーヒットで頑張っているの、得点して逃げ切りしたい。前回負けているので、リベンジを果たしたい」と熱く話された。増居君の父、重幸さんは「今日は調子が良い。夏の甲子園では変化球でストライクが取れなかったので、この冬は変化球でストライクを取れるように練習してきた。その成果がここで発揮されていると思う」と明かされた。片山隼輔君(1-4)は「増居さんを中心に守備から攻撃につなげられている。ここから接戦になっていくと思うが、攻撃をつなげて点を取ってほしい」と語気を強めた。